



LIBERAL DEMOCRATIC PARTY KATSUSHIKA CITY ASSEMBLY

自由民主党

会報

令和6年
2024
8月号



ホームページもチェック!

葛飾区議会 自由民主党議員団

検索

jimin-katsushika.com

令和6年第二回定例会が開催されました

一般質問



秋家 聡明

リスクマネジメント強化と

地域コミュニティ維持の支援を

◆適正な事務執行のためのリスク マネジメントと職員のメンタル ヘルス

問 適正な業務執行を継続するために、職員一人一人がリスクマネジメントの意義を十分に理解し職務に全力で取り組んでいく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 本区では、リスクマネジメント制度を導入し研修を実施するなど、さまざまな方策に取り組んでいる。リスクマネジメントの取り組みを推進するには、職員一人一人が、一つのミスにより区に対する信頼を損ね、行政運営に支障を及ぼす事態に発展することを認識する必要がある。今後も意識を高めた上で、区民第一で職務に取り組む職員育成に努めていく。

※他の質問項目 職員のメンタルヘルスの維持・向上 など

◆社会の変化をとらえた地域 コミュニティ維持のための支援 策の拡充

問 自治会活動の担い手不足も深刻な課題と考えるが、職員による人的支援について区の見解を伺う。

答 現在、19の地区センターに地区センター長を配置し、地域からの相談や要望を受け止め、必要に応じて所管する部署につなぐなど、地域と区のパイプ役を担っている。しかしながら、現在の自治町会を取り巻く複雑化した課題は、地区センター長だけで

課題解決に結びつけるには厳しい状況にある。そのため、中期実施計画の地域力向上支援では、職員がコーディネーターの役割を担い、地域課題の解決に取り組んでいく。

※他の質問項目 外国人の増加傾向を踏まえた自治会活動の支援 など

◆少子化対策のさらなる拡充

問 若い世代の方々が、不安や孤独感を感じることなく、子育て本来の楽しさや喜びを感じられるような施策の展開が必要であると考えるが区の見解を伺う。

答 子育ての孤立感や不安感を感じやすい社会的背景の中で、子育てをする中で得られる楽しさや喜びを感じられる機会を提供したり、発信したりすることが、支援を進める上で重要だと考えている。現在、子ども未来プラザでは、親子で楽しめる講座やイベントを多数実施しており、さらなる施策の展開につなげていく。

※他の質問項目 のびのびと遊べる環境づくり など

一般質問



齊藤 大介

放課後支援の充実と

公園整備による地域活性化を

◆今後の放課後支援

問 待機児童解消に向けたかつしかプラス事業と並行し、学童保育、わくわくチャレンジ広場などの事業の在り方を整理し、より効果的な事業展開を図る必要があると思うが、どうか。

答 子供たちに安全で充実した環境を提供するために、より効果的な事業を構築することは不可欠であると認識している。今後は、全ての児童がより充実した放課後を過ごせるよう事業の再構築を含めて検討していく。

※他の質問項目 学童保育の待機児童数の現況 など

◆部活動の地域移行

問 地域移行については、地域の活動団体をはじめ、地域の方々も指導に関われるような形で進めていきたいと考えているが、区の見解を伺う。

答 これまで、多くの地域の皆様に支えられながら、部活動を運営してきた。今後、協議会での議論を踏まえ、地域の指導者や活動団体に指導に関わっていただく仕組みについてしっかりと検討を進めていく。

※他の質問項目 地域クラブ活動の管理運営委託の内容 など

◆今後のスタジアム建設の検討

問 本年度実施する基礎調査のスケジュールや実施方法について示されたい。

答 建築基準法や都市公園法の制約を整理するほか、周辺道路の交通量や騒音の調査などを行う。さらに、国内外でのスタジアムの先行事例を基に、スポーツ振興をはじめ、防災・環境といった機能面についても調査をしていく。本調査は、本年8月頃から着手し、令和7年3月に完了する予定である。

※他の質問項目 持続可能なスタジアム整備の検討 など

◆学校給食における有機食材の活用

問 持続可能な社会の実現に向けた啓発の一環として、学校給食における有機食材の活用を推進するべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 学校給食で有機食材を提供することは、子供たちが持続可能な社会について考えるきっかけの一つになり、意義のある取り組みと考えている。活用にあたっては、学校の意向や食材納入業者の状況も把握した上で、実施に向けて検討を進めていく。

※他の質問項目 有機食材の活用状況

常任委員会ダイジェスト

区政に関わる案件をより能率的、専門的に審査する為に、各議案は事務部門別に設置された4つの常任委員会に付託し、議論しました。

総務委員会



大森委員、秋家委員長、峯岸委員

令和6年度各会計補正予算、こち亀記念館条例の制定などの議案や請願の審査のほか、個人情報保護制度の運用状況、地域経済活性化対策、東四つ木地域の施設一体型校舎整備基本構想・基本計画(案)、(仮称)かつしかアート・カルチャー基本方針の策定、青砥駅高架下広場の装飾などの報告を受けました。

わが会派は、東四つ木地域の施設一体型校舎整備基本構想・基本計画策定の近隣説明会について、保護者が来やすい日程を早めに提示するよう強く要望しました。

保健福祉委員会



齊藤副委員長、筒井委員、高木委員

災害弔慰金の支給等に関する条例改正案や請願の審査のほか、予防接種事業の拡充、児童手当制度の拡充、国民健康保険・後期高齢者医療制度におけるマイナンバーカードと健康保険証の一体化、産後ケア事業の新規実施施設、塾代クーポン券を活用した次世代育成支援事業の実施、子ども総合計画の策定に係る調査などの報告を受けました。

わが会派は、子ども食堂について、区側から積極的に子育て支援団体と協働してさらに広められるよう指摘・要望しました。

建設環境委員会



安西副委員長、伊藤委員、秋本委員

河川流水占用料等徴収条例の改正案の審査のほか、清掃施設再編のスケジュール変更、高齢者運転免許証自主返納支援、古布回収拠点の増設、区内鉄道駅におけるホームドアの整備、水防訓練の実施結果、葛飾区高齢者向け優良賃貸住宅の移行、空家等対策計画の改定などの報告を受けました。

わが会派は、高齢者運転免許証自主返納支援にあたり、公共交通の充実と利用推進を要望しました。

文教委員会



工藤委員、池田委員長、梅沢委員

区立学校設置に関する条例、体育施設条例の改正案や請願の審査のほか、統合小学校の校名(案)の選定、東四つ木地域の施設一体型校舎整備基本構想・基本計画(案)、かつしかチャレンジプログラム、(仮称)新宿地区屋内温水プール建設工事基本設計(案)、にほんごステップアップ教室(新小岩教室)の設置などの報告を受けました。

わが会派は、屋内温水プールを着実に整備することなどを要望しました。

能登半島地震 被災地視察レポート

7月12、13の両日、能登半島地震における被災地視察のため、穴水町、輪島市、内灘町、七尾市和倉温泉地域に行っていました。

視察の目的は、今後の本区の防災・減災対策に生かすこと。地震による被害の具体的な状況を直接現場にて確認し、復旧作業や復興計画の状況について理解を深め、被災地で現在進行中の取り組みや課題を把握することができました。

1 日目は穴水町と輪島市を訪れました。

穴水町では、地盤の脆弱性から地震の影響が広範囲に及び、倒壊・圧壊した建物も多くあり、液状化現象でマンホールが浮き上がっている道路もありました。

輪島市では、二次被害も深刻で、高速道路ではがけ崩れや地滑りが多発し、復旧作業に従事する方々の献身的な努力に敬意を抱きました。

2 日目は内灘町と七尾市和倉温泉地域を訪れました。

内灘町では、液状化現象による畑や建物の被害状況を目の当たりにし、地域全体のインフラ整備や防災対策の必要性を痛感しました。また、被災住民の生活再建に向けた迅速で効果的な支援が求められていることも改めて認識しました。

最後に視察した七尾市和倉温泉地域では、損壊被害で多くの旅館が休業を余儀なくされており、地震が地域経済に与える深刻な影響を実感しました。

今回の視察を通じて、本区としても、災害対策の見直しと強化を図るべきと実感しました。

また、今後の都市計画や建築基準の見直しや厳格化の必要性のみならず、住民の生活再建支援や経済復興に向けた取り組み、地域全体で災害に備える体制構築も重要であるという課題を再認識しました。

わが区の防災・減災対策をさらに推進し、災害に強いまちづくりを進めていくために、次の通り考えをまとめました。



輪島：横転してしまった1972年築のビル

① 〈耐震基準の見直し〉

耐震基準の家屋でも倒壊が見られたことを踏まえ、建築基準を再検討し、より厳格な耐震対策を検討する必要があります。

② 〈液状化対策〉

地盤の調査と改良を進めることが重要。特に低地や埋立地などの液状化リスクが高い地域に対しては早急な対策が求められる。

③ 〈災害時のインフラ整備〉

被災地では消火栓の使用不能が大規模火災を引き起こした。災害時に必要なインフラの整備を強化し、消火設備の点検や水利の確保を徹底することが必要。

④ 〈避難計画と住民教育〉

被災地の経験を教訓に、避難計画を見直し、住民への防災教育を強化する。避難訓練の実施や防災意識の向上を図るための啓発活動を進める。

⑤ 〈地域経済の復興支援〉

地震の影響で観光業が打撃を受けたことから、地域経済の脆弱性を認識し、災害時の支援体制を整備する。地域産業の早期復興に向けた支援策を検討する。

被災地の早期復興を祈りつつ、私たちも共に歩んでいきたいと考えています。



■発行/葛飾区議会自由民主党議員団(葛飾区立石5-13-1)
■電話: 03-3695-1111
■発行責任者/筒井たかひさ
■編集長/大森ゆきこ
■編集委員/梅沢よかず 高木信明

お気軽にご意見をお寄せください!
葛飾区自民党HP➡

